



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

ロータリアン 一歩 前へ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
R.I.会長メッセージ

第985回例会 2011年7月20日 No.957号

会長時間



会長 南條 泰

カルヤン・バネルジーRI会長のメッセージを紹介します。「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。この言葉は深く自分自身を省みる事です。ロータリーの奉仕において強調事項が三つあります。

【第一】全てが家族から始まる 家庭はロータリー活動の核です。

【第二】継続です 得意とすることを知り継続することです。

【第三】変化です 真の変化は一人から始まります。自分から始めることを理解することです。自分が与えなければ他人との共有はないのです。

私達の家族・クラブ・地域社会を大切にしようではありませんか。さて、来週は夫人同伴夜間例会です。みなさん勇気をもって奥様を連れ出してください。奥様にロータリー活動を少しでも理解していただきましょう。そして、みんなが仲間であることを喜びあいましょう。心ゆたかなロータリアンとなるために

今回の例会(7月27日)

夫人同伴夜間例会

(於:シェラトンホテル広島 18:30～)

次回の例会(8月3日)

ゲスト卓話

学校法人 上野学園

理事長 上野 淳次 様

出席報告 (渡部幹事)

7月20日(水)出席者

会員総数	39名
出席会員	35名
欠席会員	4名
ご来賓	0名
ご来客	2名
ゲスト	1名

来客者紹介 (南條会長)

7月20日(水)出席者

広島RC	1名
広島中央RC	1名

幹事報告(渡部幹事)

■出席報告

■お知らせ

- ・広島安芸RC「新会員歓迎夜間例会」
【とき】8月2日(火) 18:30～【※同日変更】
【ところ】ホテルグランヴィア広島
- ・広島安佐RC「夏の家族会」
【とき】8月7日(日) 18:00～【※8/11(木)の変更】
【ところ】マツダZoom-Zoomスタジアム
- ・広島東RC「夜間例会・夏家族会」
【とき】8月24日(水) 18:30～【※同日変更】
【ところ】ホテルグランヴィア広島
- ・広島南RC 8月12日(金)「休会」
- ・広島東南RC、広島中央RC、広島廿日市RC
8月15日(月)「休会」
- ・広島RC、広島西南RC、広島安芸RC
8月16日(火)「休会」
- ・広島東RC 8月17日(水)「休会」
- お知らせ
・次回の例会は「夫人同伴夜間例会」へ変更しておりますので、お間違えのないようご注意ください。
【於: シェラトンホテル広島 18:30～】
- BOX配布物
・2011-2012年度手帳版名簿
・2011-2012年度在広RCB5版名簿

御 祝 い

山本新太郎君に7月14日にお子様が生誕されました。おめでとうございます。



【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】南條 泰 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】渡部 邦昭 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話 (1/2)

株式会社 リーガロイヤルホテル広島
代表取締役 **田附 隆** 様



就職の年1970年は日本で初めて万国博が大阪で開かれると日本中が湧き上がっていた頃で、あの三波春夫さんの『こんにちは～こんにちは～』に誘われてロイヤルホテルの前身である大阪の新大阪ホテルに入社しました、初めての関西での生活と社会人としてのスタートを切った訳であります。一番困ったのは関西弁と友人がいないということで苦労いたしました。ホテルに入りフロントや営業など接客部門に配属されるのかと期待していましたところ、人事部に配属され7年間もバックサイ

ドでした。

10年目になって初めて現場へ、しかもニューヨークのウォルドルフ＝アストリアホテル1年間研修に選抜され、これはラッキーと飛び上がったものです。1980年当時のNEWYORKの雰囲気は1975年のホーチミン陥落によりベトナム戦争で負けた後遺症が続く中、中米からの不法移民が都市部を殺到して、治安の悪化、まさに映画のディアハンターに代表されるようにアメリカで、私が滞在した一年間でもいろんな事件が起こりました、まず12月にウェストのダコタハウスでジョン・レノンが射殺され、翌年の4月には就任したばかりレーガン大統領が同じニューヨークで射撃され瀕死重傷を負うと物騒な事件が多発してましたニューヨークでした。小さい頃、毎日曜日の朝、兼高かおるさんの『世界の旅』を見て海外生活にあこがれていまして、素晴らしいアメリカを想像しておりましたが、思い描いていたアメリカとは全く違っていてびっくり、住まいはマンハッタンから地下鉄で20分くらいの郊外のクイーンズ区のフォレストヒルという街で、昔はアングロサクソン系の方が多い高級住宅街でしたが、奥の方のジャマイカというところに黒人が住み始めて、白人の人たちはニュージャージーやアップステイトの方に移り、その頃はユダヤ人がその跡に住み、至るところにシナゴグがあり、木曜の夕方になると黒の帽子を被った敬虔な信者が教会に集まる街でした。その街で60歳のドイツ人のおばちゃんとの下宿生活、そこいら中にグラフィックの悪戯書き、地下鉄には電気のつかない車両、マリファナの匂いが立ち込める車両、ニューヨーク市警も手が回らず、シェパード犬を連れて巡回するというような状態でした。そんな電車に乗って毎日通勤しておりました。

研修の舞台となりましたウォルドルフ＝アストリアホテル1931年に建てられた最高級のホテルで、客室数は1800室、55階建て、ヒルトンホテルのフラッグシップホテルです。パークアヴェニューの49丁目マンハッタンの真ん中に位置して、国連総会が開かれる時期になりますと世界中の元首達泊まり、スイートルームの取り合いが起きていました。ニューヨーク着が午前又は昼頃の使が多く、到着してすぐに部屋に入るため、前日から押さえねばならず、政府の出先はホテルと交渉して、皆、足元を見られ、高い部屋代を請求されていたようです。日本も多分相当払っていたようです。ウォルドルフ＝アストリアホテルはケネディ大統領と女優のマリリン・モンローの密会で有名になったホテルでもあります。マリリン・モンローはこのホテルを定宿としていて、大統領は少し離れたカーライルホテルが定宿だったそうで、密会の時は大統領が彼女の直下階のスイートに泊まり、マリリン・モンローが床のカーペットをまくり、床に仕組まれたハッチを空けて階下の大統領の部屋へ梯子を使って降りてくるという段取りだったそうです。後日、客室の研修の時、天井に丸いハッチの跡があるスイートを見せて貰いました。この部屋がケネディ大統領がよく使ったスイートだと教えてもらいました。研修はアメリカ人の学卒のマネジメントトレイニーと一緒に一年間、長い時は4週間から短い時は1週間単位で計22ヶ所の部署を回り、一年後にはアシスタントマネジャーとして全米のヒルトンに配属されるというプログラムです。

ゲスト卓話 (2/2)

私にとって最大の難関は語学でホテルのシステムはよく分るが何を言っているのか分からないといった具合で、電話口で『PARDON ME』を連発、ついに『OH MY GOD!』電話を切られたことが数え切れません。そんな中で特に関心したのはシステムが全て性悪説にのって出来ていてすべてが確認と確証を求めるというマニュアルの世界。人事部に配属された時、突然、従業員のロッカー点検に駆り出され、副鍵で開けると中から高級ワインや牛肉の塊やらが出てくる始末、パーティ料理を地下の厨房から宴会場の運ぶ途中で料理の2割はなくなるとか、美味しそうなものからつままれてしまう、特に日系企業のパーティーは単価が高く串かつや巻物の寿司が狙われていたようです。パーティー会場に着く頃には何かスカスカの盛り付けになっているケースが多かったです。従業員用の食堂でナイフフォークがよく無くなるとマネジャーが嘆いているので、どうしてなのかと聞いたら、ドミニカ人のスチュワードの連中が持って帰る、彼らは最近ドミニカから家族を呼び寄せたので皆に一通り行き渡るまでこのDisappeareは無くならない。全てがこんな調子で、客用の備品、例えばベルボーイが使う真鍮製のワゴンが良く無くなる、だからゲストサービスが終わったら、皆、柱に輪っかの鍵を掛ける。NYは故買市場が発達しているから何でも無くなる。ある日系企業の友人がJFKまで上司を迎えに行った時、駐車場に車を止め、ターミナルまで行き、途中で忘れ物に気付、車に戻ると2人組の黒人の少年が前輪を外そうとしている、彼に向って前輪は俺達が貰うから、お前には後輪をあげると言ったとか、そんなことが日常茶飯時に起きているNYでした。私は幸いにも事故には逢いませんでしたが一緒に行った同僚は夕方の住宅街の歩道を歩いていたら、後ろから来た車が前方4~5m先に急に停まり何かなと思った瞬間に中から3~4人のストッキングをかぶった少年が下りて来てホールドアップ、もっていた20ドルを取られた。幸いお金を持っていたので怪我無く助かった。以前よりNYでは歩道を歩くときは対向車線側の歩道を歩く、角を曲がるときは直角ではなく大回りをする事とい聞いていましたがまさに起きたという感じです。こんな話ばかりでさぞやNY研修は大変な思いばかりの一年と思われませんが、同期に研修をスタートした米国人トレニー仲間達との週末毎の小旅行、特にNY郊外やニュージャージー、ペンシルベニア、マサチューセッツ等の田舎は景色も人情も素晴らしく、又、マンハッタンとは違ったアメリカでした。1年もあつという間に過ぎ、もう二度とこのNYには戻って来ることはないと思っていたところ、10年後の1990年に建設途中のホテル買収案件にて、NY経験者が駆り出され、半年ほど滞在し開業準備に当たりました。その頃のNYの街は80年代に比べ大分綺麗でした。



.....: SMILE BOX

山本新太郎 君

7月14日に第2子、長女が誕生しました。御祝いはいつでも受付ておりますので、よろしくお願いいたします。
(大枚)

割方寿祥 君

7月13日、私達に男子の孫が誕生いたし、感動いたしております。世の為、人の為になる人間になってくれる様、期待しています。

武田龍雄 君

昨日、19日可部支店が無事にリニューアルオープンしました。地元の鈴木会員、串井会員には応援よろしくお願いいたします。

全員ご出宝

女子サッカー「なでしこJAPAN」ワールドカップ優勝おめでとう！感動と勇気を与えてくれてありがとう！

鈴木大次郎 君、串井武憲 君、武田龍雄 君 (中国新聞より)

中国新聞より、可部線開設100周年おめでとうございます。このJRにより可部町が偉大なる発展をされております。可部町にお住まいの鈴木君・串井君・武田君今後とも活躍をお祈りしています。ご出宝願います。

当日計	50,000円	累計	105,000円
------------	----------------	-----------	-----------------